

文 教 委 員 会 資 料

所管事務の調査（報告）

新たな「かわさき家庭と地域の日」について

資 料 新たな「かわさき家庭と地域の日」について

参考資料 「かわさき家庭と地域の日」のアンケート結果概要

令和 7 年 1 月 2 4 日
教 育 委 員 会 事 務 局

1 「かわさき家庭と地域の日」とは

●学校教育法施行令及び学校教育法施行規則の一部改正

(平成29年9月13日公布、同日施行)

- ① **大人と子どもが一緒にまとまった休日を過ごす機会を創出するため、公立の学校の休業日として「体験的学習活動等休業日」を追加**
- ② 教育委員会は、「体験的学習活動等休業日」を定めるに当たっては、家庭及び地域における体験的な学習活動等の円滑な実施及び充実に努めるため、休業日の時期を適切に分散させて定めること等を講じるよう努めるものとされたこと。



●本市の対応（「かわさき家庭と地域の日」の設定）

10月のスポーツの日を含む3連休後の火曜日を「体験的学習活動等休業日」として設定し、その名称を「かわさき家庭と地域の日」として、平成30年度から試行実施している。

(※市立高等学校は、前期の終了日が9月30日のため独自日程を設定)

2 アンケートによる試行結果の検証

平成30年度から試行実施している「かわさき家庭と地域の日」について、試行実施結果を検証するため保護者等へのアンケートを実施

(1) 実施時期

令和5年10月11日（水）から同年11月2日（水）まで

(2) 実施方法

L o G o フォーム

(3) 対象者・回答率等

①保護者	回答数	37,199件	回答率	34.2%
②児童生徒	回答数	1,461件	回答率	81.2%
(校種ごとに各区1校、小学校5学年、中学校1学年)				
③校長	回答数	169件	回答率	100%
④地域教育会議議長	回答数	7件	回答率	100%

3 アンケート結果と課題（アンケートの詳細は参考資料を参照）

【肯定的な意見】

- 「かわさき家庭と地域の日」を設定していることについて、**約80%の保護者等**が「よい」又は「どちらかといえばよい」との意見であり、**実施時期についても約70%の保護者等**が「そのままでよい」との意見であった。

【否定的な意見・課題】

- 約20%の保護者等**が「仕事を休めない」「他の月・日にしてほしい」等の意見であった。
- 約15%の児童生徒**が「家で留守番をしていた」との状況であった。



大人と子どもが一緒に休日過ごし、「体験的な学習活動を行う」という制度趣旨を踏まえると、現在の実施方式には課題がある。

4 令和7年度以降の内容

同一年度中の取得可能日数 1日→2日

次年度以降、同日（高等学校においては各校で定める日）を「**学校閉庁日**」に指定する。

（1）10月のスポーツの日を含む3連休後の火曜日 【固定利用日】1日

教職員の約95%が休暇を取得しており（令和6年度実績。なお、本年度は、同日を、試行的に「学校閉庁日」としている。）、**教職員の働き方・仕事の進め方改革の取組に資することから継続する。**

+

登校しなくても欠席とはせず「出席停止・忌引等」と同じ取扱いとする。

（2）保護者等の休暇に合わせて柔軟に休暇を取得できる日 【任意利用日】1日

児童生徒と保護者等が、より柔軟に休暇を取得できる日として新設する。

5 任意利用日を取得する場合の手続

(1) 計画を立てる

留意事項	同一年度中に 1 日の取得を可能とすること。
	保護者等と一緒に活動すること。
	取得した日の授業の内容は、自習等により補うこと。



(2) 届け出る

留意事項	事前に学校に活動内容等を届け出ること。
	学校ごとに、教育活動のため取得できない日・期間があること。 【例】 ア 4月●日～●日（年度はじめ） イ 5月●日～●日（運動会・体育祭の準備） ウ 3月●日～●日（卒業式練習）



(3) 学び・活動

児童生徒と保護者等が、校外・地域で、体験や探究の学び・活動を行う。

6 「体験的な学習」について

● 市内企業等との連携

(1) 10月のスポーツの日を含む3連休後の火曜日 【固定利用日】

企業等と連携して市内等での魅力的な活動を創出し、様々な体験活動の中から、選択して利用できる仕組みを構築

現在様々な市内企業と調整中

- 例 ユースキン製薬株式会社（体験学習、工場見学等）
カワスイ川崎水族館（入場料割引、子どもたちだけのバックヤード体験等）

(2) 保護者等の休暇に合わせて柔軟に休暇を取得できる日 【任意利用日】

市ホームページにポータルサイトを立ち上げ、様々な学びを体験できるスポットを紹介し、児童生徒等を支援

- 例 本市の観光情報、散策マップ等を市ホームページに掲載

7 ネーミングについて

- 制度変更に伴いネーミングを変更
- 児童生徒と保護者等が、校外・地域で様々な“体験的な学習”を行う休業日



8 参画していただける市内企業等（令和6年12月末日現在）

No.	企業等名	所在地（最寄り駅等）	活動日	活動内容	対応人数	主な留意事項
1	株式会社朝日ブリック川崎工場	中原区西加瀬 （東急東横線元住吉駅又はJR南武線平間駅下車徒歩20分）	固・任	工場見学	最大40人	11時～13時の間に1回実施。事前予約要。案内係が手配できない場合は中止の可能性あり。
2	味の素株式会社川崎事業所	川崎区鈴木町 （京浜急行大師線鈴木町下車徒歩1分）	固	工場見学など	最大30人	見学の種類によって実施時間は異なる。事前予約要。中学生以下は保護者同伴
3	エコタウン会館 （川崎市経済労働局）	川崎区水江町 （JR川崎駅から市バス又は臨港バス「水江町」下車）	固・任	エコタウン会館での環境施策説明、周辺企業の工場見学ツアー	最大30人 （企業の受け入れ状況により変動）	小学校4年生以上が対象。見学の種類によって実施時間は異なる。事前予約要。見学先によってマイクロバスの手配が必要 （※有料）
4	かわさきエコ暮らし未来館（浮島処理センター内）	川崎区浮島 （JR川崎駅から臨港バス「浮島バスターミナル」下車）	固	ワークショップ（工作）	最大30人	9時～16時の間に2、3回実施。事前予約不要（令和7年1月末まで改修工事のため、その後施設側と詳細を確認）
5	川崎市上下水道局	入江崎水処理センター（川崎区塩浜（JR川崎駅から市バス「入江崎水処理センター前」下車）） 水とかがやく未来館（長沢浄水場広報施設（小田急線向丘遊園駅から市バス「浄水場入口」下車））	任	入江崎水処理センター広報施設の見学、長沢浄水場広報施設の施設見学	—	平日の午前・午後各1回実施。事前予約要
6	カワスイ川崎水族館	川崎区日進町 （JR川崎駅下車徒歩1分）	固	①入場料の割引、②子どもだけのバックヤード体験、③上記①と②のセット企画を想定	左記②については最大10人	左記②については、午前・午後各1回実施（所要時間40分～50分程度）。事前予約要。バックヤードは車椅子不可
			任	入場料の割引	—	学校に申請して休みを取っていることが確認できる資料の提示をお願いしたい。
7	観光農園（市内） （黒川東芋掘会など）		任	収穫体験	—	
8	㈱クレハ環境ウェステックかながわ	川崎区千鳥町 （JR川崎駅から市バス「JERA川崎火力発電所前」下車）	固	工場見学（産業廃棄物の焼却処理と焼却廃棄熱を利用した発電についての見学）	10人以上 50人以下	小学生以上が対象、午前・午後各1回実施。事前予約要。大型バス1台でまわる（無料）。

新たな「かわさき家庭と地域の日」について



No.	企業等名	所在地（最寄り駅等）	活動日	活動内容	対応人数	主な留意事項
9	J E R A 川崎火力発電所	川崎区千鳥町 （J R 川崎駅から市バス「J E R A 川崎火力発電所前」下車）	固	工場見学	最大40人	小学校高学年以上が対象。午前と午後のいずれか1回実施。事前予約要
10	特定非営利活動法人 川崎市民石けんプラント	川崎区塩浜2丁目 （J R 川崎駅から臨港バス「大師高校前」下車徒歩5分）	固	工場見学・体験等 ※有料	最大20人	小学校3年生以上が対象。午前・午後各1回実施（所要時間1時間半程度）。事前予約要
11	中日本高速道路株式会社東京支社（NEXCO中日本東京支社）	宮前区南平台 （東急田園都市線溝口駅又は宮前平駅下車市バス「平畑八幡前」又は「東名向丘入口」下車）	固・任	企業PR館コミュニケーション・プラザ川崎の見学	最大10人	午前1回・午後2回実施（10時～16時の間）。事前予約要
12	日本理化学工業 株式会社 川崎工場	高津区久地2丁目 （東急田園都市線二子新地駅下車徒歩5分）	固	工場見学	最大30人	開始時間 13:15～15:00。事前予約要
13	フォレストアドベンチャー御殿場	静岡県御殿場市印野 （東名高速道路・御殿場ICから車で17分）	固	自然共生型アスレチックパーク。体験料の割引	—	受付にて川崎市民であることが分かるものを提示して欲しい。
14	富士川楽座	静岡県富士市岩淵 （東名高速道路・富士川スマートICから車で2分）	固・任	遊びと学びの体験館。入場料の割引	—	受付にて川崎市民であることが分かるものを提示して欲しい。
15	よみうりランド	稲城市矢野口 （京王線京王よみうりランド駅又は小田急線よみうりランド前駅から小田急バス「よみうりランド」下車）	固	入場料割引	—	受付にて川崎市民であることが分かるものを提示して欲しい。
16	ユースキン製薬株式会社	川崎区貝塚 （J R 川崎駅下車徒歩15分）	固	体験学習（ハンドクリームづくり又は親子向けハンドクリーム講座）の実施、工場見学などを想定 ※有料	最大40組 （午前・午後それぞれ最大20組）	主に小学生を対象。午前・午後各1回実施。事前予約要。通常ハンドクリームづくりは有料で実施しているが、今後費用無料について検討する。
17	川崎市港湾局（誘致振興課）	川崎区千鳥町	固	巡視船による港内クルーズ	最大40組 （午前・午後それぞれ最大20組）	風が強く波が高い場合は中止の可能性がある。

※（注）「活動日」欄の表記について 「固」とは固定利用日での活動ができることを、「任」とは任意利用日での活動ができることを、「固・任」とは固定利用日及び任意利用日のいずれの活動もできることを、それぞれ示す。

参考資料（アンケート結果）

(参考資料)「かわさき家庭と地域の日」のアンケート結果概要



「かわさき家庭と地域の日」のアンケート結果概要について

川崎市立学校では、10月のスポーツの日を含む3連休後の火曜日を学校休業日とする「かわさき家庭と地域の日」を平成30年度より試行的に設定しています。これまでの試行結果を検証するため、保護者及び児童生徒、各学校長、各区地域教育会議議長へのアンケートを実施しましたので、結果を報告いたします。

1 「かわさき家庭と地域の日」のアンケート対象

- ・市立小・中学校保護者
- ・児童・生徒（校種ごとに各区1校の小学校5学年、中学校1学年）
- ・市立学校校長
- ・各区地域教育会議議長

2 保護者アンケートの結果

(1) 保護者アンケートの概要（実施期間 令和5年10月11日（水）～10月31日（火）、回答方法 LoGo フォーム、**回答数 37,199件 回答率 34.2%**）

(2) アンケート結果

ア 「かわさき家庭と地域の日」を設定していることについて

「よい」又は「どちらかといえばよい」が79.95%、「よくない」又は「どちらかといえばよくない」が19.78%であった。

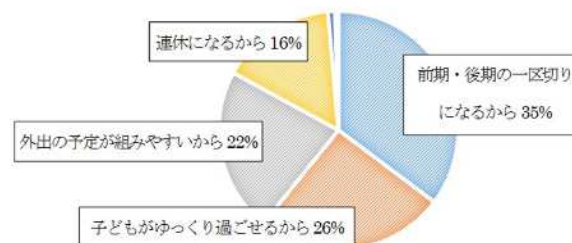
選択肢	回答者数	割合
よい	18,996人	51.07%
どちらかといえばよい	10,742人	28.88%
どちらかといえばよくない	5,092人	13.69%
よくない	2,265人	6.09%
未回答	104人	0.27%



イ 「よい」、「どちらかといえばよい」を選んだ理由について

「前期・後期の一区切りになるから」が35.24%、「子どもがゆっくり過ごせるから」が25.58%であった。

選択肢	回答者数	割合
前期・後期の一区切りになるから	10,479人	35.24%
子どもがゆっくり過ごせるから	7,606人	25.58%
外出（旅行を含む）の予定が組みやすいから	6,582人	22.13%
連休になるから	4,652人	15.64%
その他	292人	0.98%
未回答	127人	0.43%



○その他（自由記述）

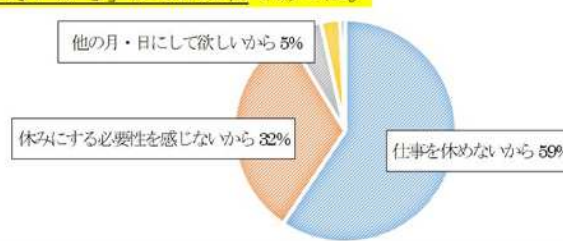
子どもとゆっくり過ごせる・出かけられるから等（103件）、子どもが喜んでいたら、子どもが休めるから等（45件）、平日のため、混雑を気にせず出かけられるから等（43件）等

(参考資料)「かわさき家庭と地域の日」のアンケート結果概要

ウ 「よくない」、「どちらかといえばよくない」を選んだ理由について

「仕事を休めないから」が59.34%、「休みにする必要性を感じないから」が31.89%であった。

選択肢	回答者数	割合
仕事を休めないから	4,372 人	59.43%
休みにする必要性を感じないから	2,346 人	31.89%
他の月・日にして欲しいから	380 人	5.17%
その他	206 人	2.80%
未回答	53 人	0.71%



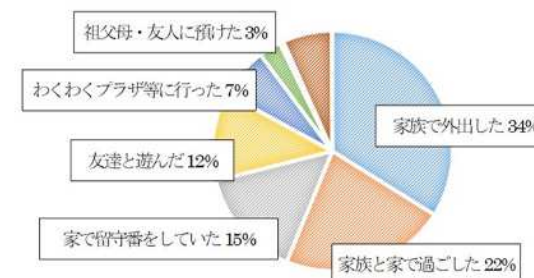
○その他（自由記述）

仕事が休みづらい、職場にも市立学校に通う子どもの保護者が多く休みづらいから等（75 件）、家族で過ごせない・家族と休みが合わないから等（42 件）・趣旨が分からないから、馴染みがないから等（31 件）等

エ 今年度の「かわさき家庭と地域の日」の児童生徒の過ごし方について

「家族で外出（旅行を含む）した」が33.87%、「家族と家で過ごした」が22.33%であった。

選択肢	回答者数	割合
家族で外出（旅行を含む）した	12,601 人	33.87%
家族と家で過ごした	8,307 人	22.33%
家で留守番をしていた	5,527 人	14.86%
友達と遊んだ（わくわくプラザ・こども文化センター以外で）	4,420 人	11.88%
わくわくプラザ・こども文化センター等に行った	2,549 人	6.85%
祖父母・友人に預けた	1,107 人	2.98%
地域の行事に参加した	193 人	0.52%
その他	2,465 人	6.63%
未回答	30 人	0.08%



○特記事項

・「よい」又は「どちらかといえばよい」と回答した保護者の子どものうち40.24%が「家族で外出（旅行を含む）した」、24.40%が「家族と家で過ごした」と回答
 ・「よくない」又は「どちらかといえばよくない」と回答した保護者の子どものうち34.84%が「家で留守番をしていた」、16.80%が「わくわくプラザ・こども文化センター等に行った」、14.00%が「家族と家で過ごした」と回答

○その他（自由記述）

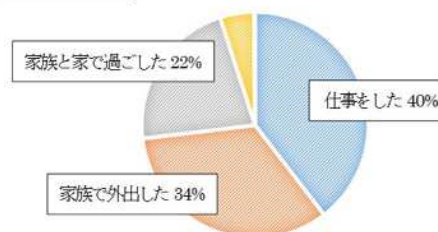
塾、習い事、外部部活動、クラブ活動等に参加等（463 件）、体調不良で休養等（443 件）、民間学童、デイサービス等に行った等（376 件）等

(参考資料)「かわさき家庭と地域の日」のアンケート結果概要

オ 今年度の「かわさき家庭と地域の日」の保護者の過ごし方について

「仕事をした」が39.56%、「家族で外出（旅行を含む）した」が33.54%であった。

選択肢	回答者数	割合
仕事をした	14,717 人	39.57%
家族で外出（旅行を含む）した	12,478 人	33.54%
家族と家で過ごした	8,148 人	21.90%
その他	1,803 人	4.85%
未回答	53 人	0.14%



○特記事項

・「よい」又は「どちらかといえばよい」と回答した保護者のうち39.96%が「家族で外出（旅行を含む）した」、24.45%が「家族と家で過ごした」、30.75%が「仕事をした」と回答

・「よくない」又は「どちらかといえばよくない」と回答した保護者のうち75.28%が「仕事をした」と回答

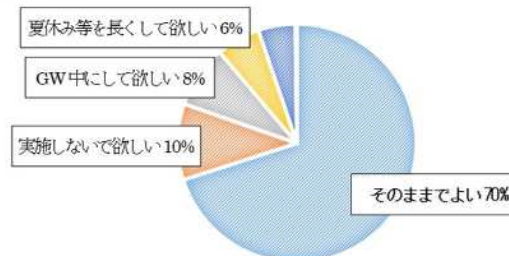
○その他（自由記述）

子どもの付き添い・送迎等をした等（習い事、病院等）（321 件）、仕事をした等（250 件）、子どもの友達・友達家族と過ごした等（250 件）等

カ 「かわさき家庭と地域の日」の実施時期について

「そのままでよい」が70.03%、「実施しないで欲しい」が10.33%であった。

選択肢	回答者数	割合
そのままでよい	26,049 人	70.03%
実施しないで欲しい	3,843 人	10.33%
ゴールデンウィーク中にして欲しい	3,141 人	8.44%
夏休み・冬休みを長くして欲しい	2,216 人	5.96%
その他	1,875 人	5.04%
未回答	75 人	0.20%



○特記事項

・「よい」又は「どちらかといえばよい」と回答した保護者のうち85.98%が「そのままでよい」と回答

・「よくない」又は「どちらかといえばよくない」と回答した保護者のうち49.69%が「実施しないで欲しい」、19.02%が「夏休み・冬休みを長くして欲しい」と回答

○その他（自由記述）

別の日にして欲しい（月初月末は避けて欲しい、10月は休みが多いので避けて欲しい、他の時期がよい等）（211 件）、連休前の金曜日にして欲しい等（204 件）

・祝日の少ない月にして欲しい等（184 件）等

キ その他の意見について

「継続して欲しい、よい取組だと思う、家族で出かけるのによい」が3,335 件、「時期を見直して欲しい等」が1,054 件あった。

継続して欲しい、よい取組だと思う、家族で出かけるのによい等（3,335 件）、時期を見直して欲しい等（1,054 件）、仕事が休みづらい、余計な出費がかかる等（939 件）、廃止して欲しい、学校があった方がよい等（899 件）等

(参考資料)「かわさき家庭と地域の日」のアンケート結果概要

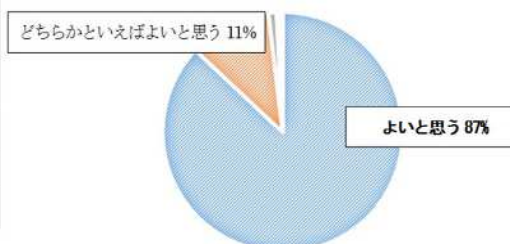
3 児童生徒アンケートの結果

- (1) 児童生徒アンケートの概要（実施期間 令和5年10月11日（水）～11月1日（水）、回答方法 LoGo フォーム、回答数 1,461件 回答率 81.2%）
 (2) アンケート結果

かわさき家庭と地域の日について

「よいと思う」又は「どちらかといえばよいと思う」が98.09%、「よくないと思う」又は「どちらかといえばよくないと思う」が1.51%であった。

選択肢	回答者数	割合
よいと思う	1,271人	87.00%
どちらかといえばよいと思う	162人	11.08%
どちらかといえばよくないと思う	16人	1.10%
よくないと思う	6人	0.41%
未回答	6人	0.41%



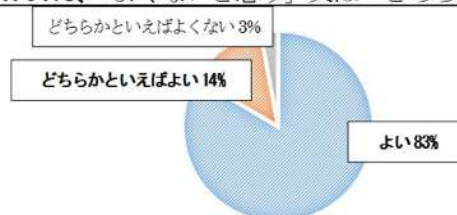
4 学校長アンケートの結果

- (1) 学校アンケートの概要（実施期間 令和5年10月11日（水）～11月2日（木）、回答方法 LoGo フォーム、回答数 169件 回答率 100%）
 (2) アンケート結果

「かわさき家庭と地域の日」を設定していることについて

「よいと思う」又は「どちらかといえばよいと思う」が97.04%、「よくないと思う」又は「どちらかといえばよくないと思う」が2.96%であった。

選択肢	回答者数	割合
よい	141人	83.43%
どちらかといえばよい	23人	13.61%
どちらかといえばよくない	5人	2.96%
よくない	0人	0%



5 各区地域教育会議議長アンケートの結果

- (1) 各区地域教育会議議長アンケートの概要（実施期間 令和5年10月11日（水）～10月27日（金）、回答方法 LoGo フォーム、回答数 7件 回答率 100%）
 (2) 回答内容（抜粋）

- ・中学生にとって部活がない休日はあまりないので、その日に友人や家族と一緒に過ごすことができるのはよい。また学校外での活動に参加できれば更によい。
- ・年度ごとに休日は決まっているので、積極的に活用するように動けばよいと思う。
- ・大人が休みになるような川崎市からの更なるアナウンスが必要かと思う。
- ・仕事は祝日扱いにならない。大人は何も変わらない。
- ・誰に、なんのために、市民に周知が足りない。
- ・家庭や地域で親子が遊びや学習体験等を行うということを促すため、親も休みである土日祝祭日に設定することで、親子で遊びに出かけたり地域行事に参加したりがしやすくなるようになり、目的達成も進むのではないかな。等